

【同窓会便り】

『学科同窓会について』

同窓会事務局 後藤 達三 (20期)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さん、こんにちは。この紙面をお借りしまして学科同窓会についてご紹介させていただきます。

ポルトガル語学科開設の頃、卒業された先輩方が同窓生・教職員の方々との交流を目的に始めた同窓会の活動も、いろいろ紆余曲折ありましたが現在に至るまで長く続いてきております。

主に毎年5月のASF (All Sophians Festival) において全体の集まりを開催し、年末もしくは年明けに忘年会又は新年会を行っております。その他上記の集まりにおいて中南米研究会の演奏を披露して頂いたり、在学生によるポルトガル語劇の案内を発信するなど、在学生との交流も徐々に図る様にしてきております。

既にお聞きになっていると思いますが、今年2014年は学科開設50周年という大きな節目にあたります。同窓会としても例年とは一味違った企画を準備中です。

また50周年を迎える学科の同窓会として現状認識を行うべく、昨年秋に学科の全同窓生を対象に『同窓会に対するアンケート』を実施しました。既に2千人を超える大所帯、全員が満足する運営は難しいですが、出来るだけ多くの方に楽しんでもらえる同窓会を目指しております。

これまで学科の同窓会は大学から見れば非公認の団体でしたが、昨年から大学側の方針が大きく変わり各学科の同窓会をソフィア会が公認することで、例えば在学生の就職活動にプラスになる様な連携を今後図っていく様です。

在学生の皆さんの多くは『(卒業した後の) 同窓会でしょう』と思われるでしょうが、上記の様に同窓会を取り巻く環境も少しずつ変わりつつあります。ぜひ同窓会の活動につきましても気にかけて頂ければ幸いです。

現役の皆さんが充実した学生生活を送れますことを祈念しております。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。